

明治期 讃美歌・聖歌集成

監修 手代木俊一

全42巻

大空社 1996-1998 復刻刊行

讃美歌・聖歌は、単にキリスト教音楽にとどまらない影響を、日本の社会・文化に広く及ぼしてきた。

聖書和訳と並行して近代・明治期に諸教派が続々と編纂・刊行し使用した讃美歌・聖歌集を網羅的に復刻集成。

広汎な領域の
関心を惹起する
重要研究資料

残部
1組

(2024.9)



第21巻収録『讃美歌并楽譜 第二版』(カーチス、1882・明治15)より。「蛍の光」の原曲は讃美歌でもあった。

資料に命のちを
作品に心こころを
形にして伝える。

www.ozorasha.co.jp

学術資料出版

大空社出版

刊行にあたって (1996年)

手代木俊一 (フェリス女学院大学)

日本では今まで、聖書の研究に比べ、讚美歌・聖歌の研究はあまりなされていなかった。これは、キリスト教系大学等の諸機関で、国内外の讚美歌・聖歌関係資料を揃えている機関が少なく、特に日本で刊行されたものは、戦災などのため入手も困難なためである。しかも資料の所蔵先が点在しており、研究する環境が整っていないことも遠因となっていると考えられる。

しかし最近、日本人の心の故郷といわれる唱歌とプロテスタントの讚美歌の関係がテレビ新聞紙上等のマスコミでも紹介され、新たな関心が持たれるようになってきた。讚美歌は「プロテスタントの音楽」というだけではなく、日本の近代史の重要なキー・ワードとなってきた。このように明治期キリスト教音楽の研究は活況を呈してきた感があるが、さらに研究を深めようと資料を諸機関に求めても、冒頭に述べたような状況で入手するのは現在ではまったく不可能に近い。

『明治期 讚美歌・聖歌集成』の刊行は、明治期に日本で刊行されたキリスト教音楽資料から、プロテスタントの讚美歌・聖歌、カトリックの聖歌、正教会の聖歌譜を系統的・網羅的に収録し、入手困難であった資料を諸機関・研究者に提供しようとするものである。

この『明治期 讚美歌・聖歌集成』の刊行によってキリスト教史、音楽史、音楽学、讚美歌学の研究はさらに深まるであろうが、また様々な分野の研究者にとってもこの『明治期 讚美歌・聖歌集成』に収められた讚美歌・聖歌は貴重な資料となろう。

英学史、英文学史、日本文学史、比較文学にとって、讚美歌・聖歌の歌詞に関する翻訳の歴史的経緯、および新体詩をはじめとする日本近代詩歌成立に関する資料的価値は大きい。

明治期には、様々な表記による宣教師用ローマ字版讚美歌・聖歌集が存在する。当時の宣教師には、日本語がどのように聞こえていたのであろうか。そのような点で、国語学、英語学、音声学上でも興味深いであろう。

また、宣教師は多くの学校を設立し、そこで讚美歌・聖歌が歌われた。彼らの教育方針、および校内における儀式が公立学校に与えた影響はあったのだろうか。この点では、教育学史、学史などの分野でも、注目すべき資料である。

当時は、中国伝道を経験している宣教師が多数来日し、讚美歌・聖歌を翻訳、「アーメン」を「亜孟」と表記している讚美歌・聖歌集も存在する。当時の中国、台湾、韓国との文化交流を考える上でも興味深い資料となろう。

讚美歌・聖歌は、それまでの日本にはなかったへともうたう契機となり、儀式の時など一堂に会して歌うことの規範となった。

等々、讚美歌・聖歌の日本近代史に果たした役割は大きいと考える。

『明治期 讚美歌・聖歌集成』の刊行によって、明治期の讚美歌・聖歌の全容があきらかになり、さらに研究が進むことを願うものである。

〈概要・特色〉

■ 明治期に刊行された主要な讚美歌・聖歌を教派系統別*・編年順に復刻集成。

収録全資料一覧 ↓ 4・5頁

* 正教会系

カトリック系

バプテスタ(浸礼)教会系

メソジスト教会系

一致(日本基督)教会系

組合教会系

福音系

小教派、団体及び個人編纂讚美歌集

聖公会系

救世軍

日曜学校、子供讚美歌・聖歌集

■ 未発表の手書き聖歌譜など貴重なものから、庶民文化・生活に浸透していった讚美歌・聖歌を網羅的に集録。

■ 広範囲な研究領域に比類ない価値を有する資料群。

キリスト教、聖書、国語・日本語(文語・口語)、アイヌ語、英語・諸言語、言語学、文学、詩歌、翻訳、宗教、社会、音楽(洋楽・唱歌)、教育、児童、比較文化・文学、文化交渉、英学史、出版・印刷……
日本近現代史研究全般

* 解説執筆

厨川勇「正教会と聖歌」／エヴァルト・ヘンゼラー、安足磨由美「明治期のカトリック教会の聖歌集」／手代木俊一「明治期プロテスタント教会の讚美歌集」

救の歌目次

(第1) 死を審判	(第12) 愛の神
(第2) 審判の日	(第13) 神けたる魂
(第3) 主招く	(第14) 魂よ上り
(第4) 主と来れ	(第15) 魂に成す
(第5) 主と来れ	(第16) 我名は天に録され
(第6) 罪人の時	(第17) 思ひ由りて救はれ
(第7) 悔きを乞ふ	
(第8) 悔きを乞ふ	
(第9) 悔きを乞ふ	
(第10) エスの名に救主を	
(第11) 主と我信す	

* * *

いろいろ分け見出し

いまままなまなく……………第三
いやしきわれさ……………第十三
「スよまま」にふすわが……………第二十一
いまにいたること……………第三十三
いつかはきたりたまふや……………第四十六
いくるも死するも……………第五十六
ほろぶるものには……………第三十八
ほろぶるもの……………第三十九
ほろぶるもの……………第五十一
ちよろづのためよ……………第四十一
わがつみおもへば……………第九
わがため十字架に……………第十一
わがたましひよ……………第十四
われはたびし……………第十六

— 9 —

13.—KARISIA SAPAHA. *Aurelia.*

1. Karisia sapha Kiristo Yesu ne, Wakka ka itak ani Shinuma karape; Nei ambe koro gusu Yesu kando oran; Yaikota komi ani Nei ambe shiknure.	3. Wen guru okai gusu Aekeshke wa an; Yainu ohuep an wa Aeukopire, Yakka, son no utara Ohitta shiruwe; Chish kor'an Karisia Tunashi nupetne.
2. Ingi moshiri ta an Yakku, patek shinep, Utarapa ka moto Eishokori ka, Ongami reihai yakka, Ibe nep poka, Echipachipa ambe Shinep patek ne na.	4. Tumi ka sakayo ka Moni ka an ita Itomo an kuni ne Chipachipa okai, Okaketa irenga Akore an ita, Anokara ikichi Karisia ne na.

5. Moshiri ta an ita
Shinep un re Kamui
Tura no an wa, aigo,
Utura konpkash;
Utarapake Yesu,
Kando tu okai an
Karisia utura
Iande un kore. AMEN

14.—UTARAPA, CHUP AHUN ITA. *Angelus.*

1. Utarapa, chup ahun ita Tashum utar'atura an; Usa okai aiuninbe Shi no nupetne hoshipi!	2. Shui tane chup ahun wa an Usa tashum koro okai Chi utara ka Yesu un Karange no araki an.
--	--

Lord now lettest Thou Thy servant
Nunc Dimittis Luke 2: 29-32
JAMES TUSLAK (1892-92)

479 第四百七十九

ルカ傳 二章 自廿九節 至三十二節

Response after the Offering 480 第四百八十

第七十一 我今夜救はるべき乎

No. 71. SHALL I BE SAVED TO-NIGHT. (JAPANESE AIR)
Words by T. M.

■共通・統合讃美歌集 [22～26 巻]

- 22 新撰讃美歌〈讃美歌委員編、植村正久・奥野昌綱・松山高吉・オルチン著、1890・明治23）
 23 Shinsen Sambika〈讃美歌委員会、1890・明治23）
 24 新撰讃美歌 トニック・ソルファー譜附〈讃美歌委員会、1891・明治24）
 25 讃美歌〈讃美歌委員会、1903・明治36）
 26 Sambika〈堀田達治、1907・明治40）

■福音系 [27～29 巻]

- 27 救の歌 キリストの福音〈松野菊太郎・笹尾鉄三郎、1894・明治27）
 救の歌 Songs of Salvation 改訂譜附〈バックストン、1900・明治33）
 28 基督教福音唱歌 伝道的集会・日曜学校用〈三谷種吉（棘焔漁夫）著・福田平治編、1898・明治31）
 基督教福音唱歌 伝導会・聖別会・日曜学校用〈三谷種吉、1900・明治33）
 聖書名目づくし〈木村清松、1904・明治37）
 29 基督教福音唱歌 福音伝道会・聖別会及ビ日曜学校用〈三谷種吉、ビー・エフ・バックストン、1901・明治34）
 リバイバル唱歌 Revival Songs 譜附〈中田重治・坂井勝次郎、1909・明治42）

■小教派、団体及び個人編纂讃美歌集 [30～32 巻]

- 30 讃美歌〈首藤新蔵、1903・明治36）
 あがなひの歌〈ミンキネン・溝口弾一、1910・明治43）
 31 讃美歌〈山下猶之助、1889・明治22）
 軍人讃美歌〈今村謙吉、1895・明治28）
 青年会讃美歌〈ジー・エム・フィジャー、1907・明治40）
 32 譜附新製讃美歌〈和田秀豊、1901・明治34）
 末日聖徒讃美歌〈ホラス・エス・エンサイン、フレデリック・エー・ケイン、1905・明治38）
 改正ゆにてりあん唱歌集〈神田佐一郎、1907・明治40）
 さんびか Hymnal〈World's Student Christian Federation Conference, Tokyo: 1907・明治40）

■聖公会系 [33～37 巻]

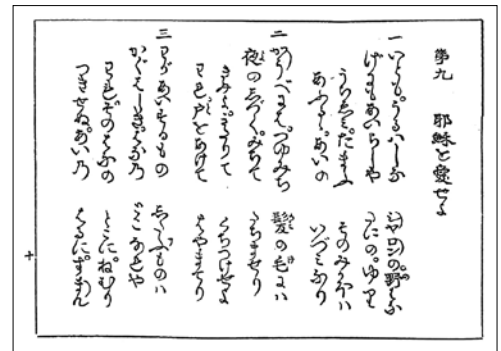
- 33 使徒公会之歌〈W.B. ライト、1876・明治9）
 使徒公会之歌〈W.B. ライト、1876・明治9）
 讃美之歌〈H.J. フォス、1877・明治10）
 基督公会之歌〈H.J. フォス、1881・明治14）
 真神讃美歌全〈W. アンドリウス、1882・明治15）
 基督降誕日の歌〈H.J. フォス、1890・明治23）
 降誕日の歌 Christmas Carols〈H.J. フォス、1896?・明治29?）
 34 真神讃美頌全〈C.F. ワーレン、1878・明治11）
 讃神歌〈W.W. デニング、1881・明治14）
 聖公会歌集〈T.S. チング、1883・明治16）
 Nippon Seikokai Ainu Karisia〈J. バチュラー、1895・明治28）
 35 聖公会讃美歌 譜附〈吉沢直江、1892・明治25）
 36 古今聖歌集 譜附〈古今聖歌集編集委員会、1902・明治35）
 37 Ko-kin Seikasyū: Hymns Old and New〈アーサー・ロイド、1902・明治35）

■救世軍 [38 巻]

- 38 救世軍々歌〈ヘンリー・ホッダー、1901・明治34）

■日曜学校、子供讃美歌・聖歌集 [39～42 巻]

- 39 童蒙讃美歌 完〈奥野昌綱・戸川安宅、1890・明治23）
 わらべうた 第一集〈石橋為之助、1897・明治30 再版）
 わらべうた 第二集 クリスマス唱歌〈石橋為之助、1896・明治29 再版）
 クリスマスのよろこびのおとづれ Arranged from The Bible Narratives: Matthew and Luka〈F.S. スカッター、1906・明治39）
 少年福音歌〈浅田正吉、1911・明治44）
 40 幼稚園唱歌〈A.L. ハウ撰、大和田建樹・松山高吉校閲、1892・明治25）
 幼稚園唱歌統編〈A.L. ハウ撰、大賀寿吉編、大和田建樹訳、1896・明治29）
 41 日曜学校うたあつめ The Sunday School Hymnbook〈辻井良吉、1890・明治23）
 クリスマス讃美歌 新撰譜附〈納所弁次郎編、デー・シー・グリーン序、原田助訳、1894・明治27）
 クリスマス唱歌〈A.L. ハウ編、大和田建樹訳、1894・明治27）
 ゆきびら 少年讃美歌集 Snow Flakes: Songs for Children〈C.L. ブラオン、大和田建樹他訳 1901・明治34）
 うれしき鐘歌〈酒井勝軍、1903・明治36）
 日曜唱歌〈湯谷紫苑、1906・明治39）
 新撰日曜学校讃美歌新楽譜 第一輯 教師用・生徒用〈神田保義、1909・明治42）
 42 讃美歌 第二編〈讃美歌委員会、1909・明治42）
 The Sambika No.2: The Hymnal〈堀田達治、1911・明治44）



童蒙讃美歌〈1890・明治23）（第39巻）

〈全収録資料〉

■正教会系 [1～5巻]

- 1 聖歌譜 (高音部) 〈ヤコフ・チハイ、1893・明治26〉
聖歌譜 (中音部) 〈ヤコフ・チハイ、1893・明治26〉
- 2 聖歌譜 (次中音部) 〈ヤコフ・チハイ、1893・明治26〉
聖歌譜 (低音部) 〈ヤコフ・チハイ、1893・明治26〉
- 3 諸祭日唱歌譜
諸祭日聖歌譜 後編
- 4 聖歌譜(1)手書総譜表 (大橋莊二による)
- 5 聖歌譜(2)手書総譜表 (大橋莊二による)
復活大祭：手書総譜表 (日野千春による)

■カトリック系 [6～11巻]

- 6 きりしたんのうたひ 〈べるなるど准、1897・明治12〉
Recueil de Cantiques Japonais avec musique (1883・明治16)
聖詠 (完) 〈伯多祿瑪利亞准、1883・明治16〉
聖詠 (完) 〈伯多祿瑪利亞准、1889・明治22〉
聖詠 (完) 〈伯多祿瑪利亞准、1893・明治26〉
天主公会拉丁聖歌
- 7 公教会羅甸歌集 〈エ・ラゲ、1903・明治36〉
公教会羅甸歌集 〈ルマレシャル、1906・明治39〉
- 8 日本聖詠 〈ルマレシャル、1907・明治40〉
- 9 天主公会聖歌 〈ベ・マルモニエ、1910・明治43〉
- 10 公教会聖歌 〈アンリ・ドマンジェ、1911・明治44〉
- 11 手書き歌詞集 〈1880・明治13〉
Cantus Sacri ad usum Alumnorum Seminarii Nagasakiensis (1896・明治29)

■バプテスト (浸礼) 教会系 [12～14巻]

- 12 (記録に残る最初の讚美歌) エスワレヲ愛シマス 〈クロスビー、1872・明治5〉 / ヨキ土地アリ
マス 〈ゴープル、1872・明治5〉
聖書之抄書 (せいしよのぬきがき) 〈ネーサン・ブラウン、1874・明治7〉
宇太登不止 (うたとふし) 〈ネーサン・ブラウン、1876・明治9〉
宇太乃不美 (うたのふみ) 〈ネーサン・ブラウン、1876・明治9〉
末古土乃美知 (まことのみち) 〈ネーサン・ブラウン、1877・明治10〉
- 13 基督教讚美歌 〈ネーサン・ブラウン、1887・明治20〉
- 14 基督教讚美歌 〈ベンネット、1896・明治29〉

■メソジスト教会系 [15～17巻]

- 15 讚美のうた 〈デビソン&スタウト、1874・明治7頃〉
讚美のうた 〈デビソン&スタウト、1874・明治7〉
譜附 基督教聖歌集 〈デビソン、1884・明治17〉
Kirisutokyo Seikashū 〈デビソン、1887・明治20〉
- 16 譜附 基督教聖歌集 改正増補 〈小方仙之助・山田寅之助・デビソン、1895・明治28〉
- 17 讚美歌 (たたへうた) 〈デビソン、1877・明治10〉
讚美歌 (たたへうた) 〈デビソン、1878・明治11〉

■一致 (日本基督) 教会系 [18・19巻]

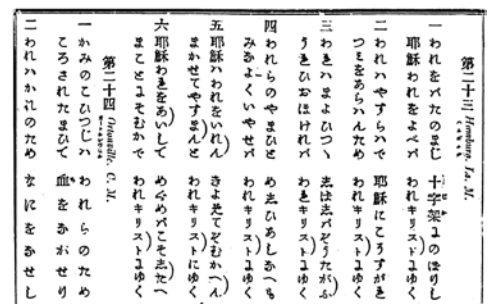
- 18 讚美歌 (さんびのうた) 〈熊野雄七、1874・明治7〉
改正 讚美歌 〈熊野雄七、1876・明治9〉
讚美歌全 〈原胤昭、1881・明治14〉
讚美歌全 〈原胤昭、1882・明治15〉
讚美歌全 〈原胤昭、1883・明治16〉
- 19 教のうた 〈ルーミス&奥野昌綱、1874・明治7〉
讚美歌 改正増補 〈奥野昌綱、1883・明治16〉

■組合教会系 [20・21巻]

- 20 さんびのうた 〈デフォレスト、1875・明治12〉
さんびのうた 〈カーチス、1879・明治12.10〉
さんびのうた 〈カーチス、1879・明治12.11〉
- 21 [讚美歌] 組合教会讚美歌 〈前田泰一、1874・明治7〉
[讚美歌] 高木玄真筆写本〔新組〕〈1874・明治7〉
[讚美歌] いと高きにおいては 〈ベリー、1874・明治7〉
讚美歌并楽譜 第二版 〈カーチス、1882・明治15〉
Sambika Songs of Praise 〈カーチス、1882・明治15〉



諸祭日唱歌譜 (第3巻)



讚美歌 〈1883・明治16〉 (第18巻)

明治期 讚美歌・聖歌集成

監修 手代木俊一

全 42 卷

大空社 1996-1998 復刻刊行



讚美歌・聖歌は、単にキリスト教音楽にとどまらない影響を、日本の社会・文化に広く及ぼしてきた。聖書和訳と並行して近代・明治期に諸教派が続々と編纂・刊行し使用した讚美歌・聖歌集を網羅的に復刻集成。

広範囲な領域の関心を惹起する重要研究資料

キリスト教、聖書、国語・日本語（文語・口語）、アイヌ語、英語・諸言語、言語学、文学、詩歌、翻訳、宗教、社会、音楽（洋楽・唱歌）、教育、児童、比較文化・文学、文化交渉、英学史、出版・印刷……日本近現代史研究全般

【解説】 * 各配本に別冊解説書「手引き」付

[体裁] A5判・上製・クロス装

厨川勇「正教会と聖歌」

エヴァルト・ヘンゼラー、安足磨由美「明治期のカトリック教会の聖歌集」

手代木俊一「明治期プロテスタント教会の讚美歌集」

全 42 卷・揃定価 512,194 円（本体 465,631 円 + 税 10%）[発行：大空社]

- 第 1 期 11 卷（第 1～11 卷）4-7568-0232-X [1996 年 5 月]
定価 160,194 円（本体 145,631 円 + 税 10%）
- 第 2 期 15 卷（第 12～26 卷）4-7568-0233-8 [1996 年 12 月]
定価 159,500 円（本体 145,000 円 + 税 10%）
- 第 3 期 6 卷（第 27～32 卷）4-7568-0234-6 [1997 年 10 月]
定価 82,500 円（本体 75,000 円 + 税 10%）
- 第 4 期 10 卷（第 33～42 卷）4-7568-0520-5 [1998 年 7 月]
定価 110,000 円（本体 100,000 円 + 税 10%）

残部
1 組

(2024.9)

学術資料出版
大空社出版

お
取
扱
い

東京都北区中十条 4-3-2
(〒114-0032)
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigy@ozorasha.co.jp